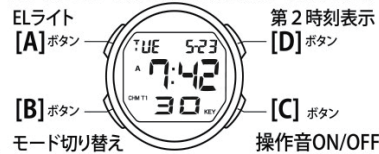


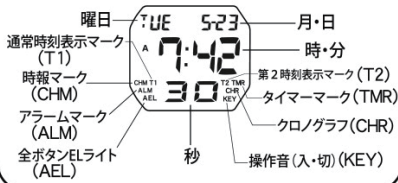
取扱説明書

操作ボタン位置参照図(通常時刻表示時のボタン操作)



- 時計 ■時報機能
- カレンダー(曜日・月・日・表示)
- EL全面ライト
- ストップウォッチ
(ラップ・スプリット10メモリー)
- データリコール機能
- タイマー機能(カウントダウン・オートリピート・カウントアップ)
- アラーム機能(4アラーム設定)
- 操作音(入・切)機能
- デュアルタイム(第2時刻表示)

各種機能のアイコン表示位置



- 製品仕様**
- 平均月差±90秒以内(適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
 - 10気圧防水 ■使用温度範囲:5℃~35℃
 - 電池寿命:新品電池を入れてから約1.5年
(1日にELライト10回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

■使用電池:リチウム電池 CR2025 x 1個

■製造国:中国

防水機能について

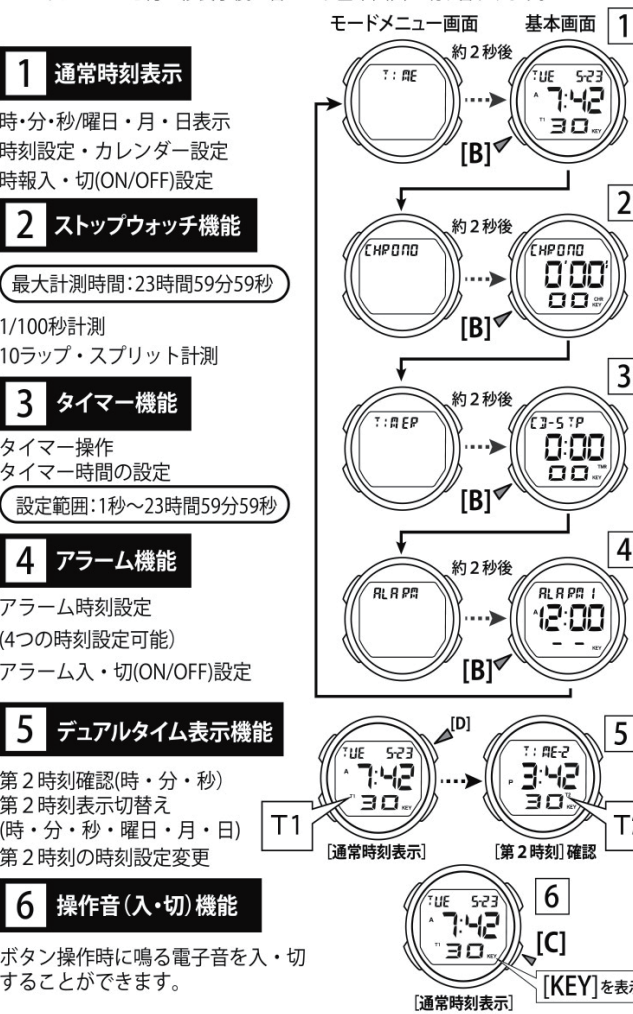
- 本製品は10気圧防水です。
- ※注意:激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

10気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	○	×	×

ボタン操作のご注意 水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。

各モードへの切り替えについて

通常時刻表示の状態から下図の順でボタンを押すごとにモードが切り替わります。モードメニューを約2秒表示後に各モード基本画面へ切り替わります。



第2時刻の時刻設定方法

《例》第2時刻を8時間進める場合

- 現在の第2時刻 [A] 3秒押し
- 第2時刻の設定は[時]のみを
プラス23時間~マイナス23時間の範囲で
設定変更します。※[分・秒]の設定変更はできません。
- ① 第2時刻表示の状態[A]ボタンを約3秒間押しすると[時]の設定範囲が点滅します。
 - ② 点滅時に[D]または[C]ボタンを押して設定を変更してください。[D]ボタンを押すと進み、[C]ボタンを押すと戻ります。※長押しすると早送りできます。
 - ③ [A]ボタンを押して設定を終了します。
- 8時間進んだ時刻
- ※注意:点滅時に約30秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して第2時刻表示に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

データリコール機能

※約30秒間操作を行わない場合は、自動的に通常時刻表示に戻ります。

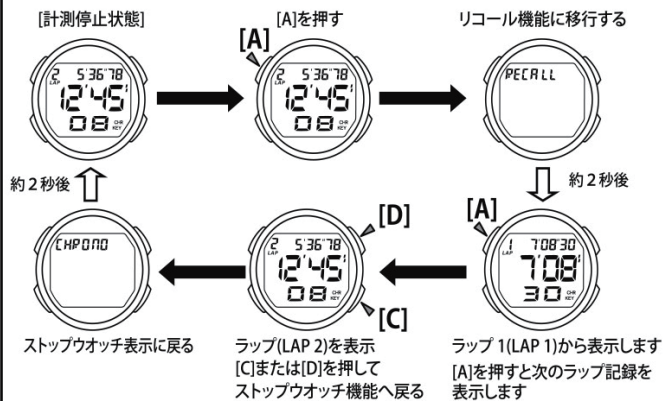
記憶した計測記録を見ることができる機能です。
計測記録が2つ以上必要です。

重要

リセットをすると計測記録がすべて消去され、再度記録を読み取ることができませんのでご注意ください。

ラップタイム(LAP)・スプリットタイムのデータ読み取り

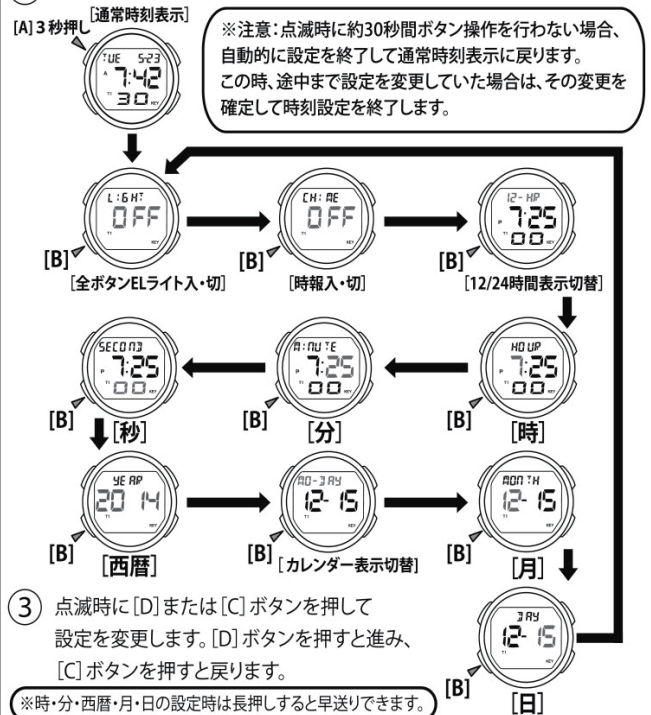
- ① ストップウォッチ計測を**ストップした状態**から、[A] ボタンを1回押して「リコール」機能を表示させます。
- ② [A] ボタンを押すごとに各ラップタイム記録を順次見ることができます。記録表示の逆送りはできません。最終記録表示の次はラップ1(LAP 1)に戻ります。
- ③ [C] または [D] ボタンを押してストップウォッチ表示に戻ります。※どの記録表示からでもストップウォッチ表示に戻れます。
- ④ 再度、計測記録を見る場合は上記操作①～②を行ってください。



1 通常時刻表示

時刻設定と各種設定の変更

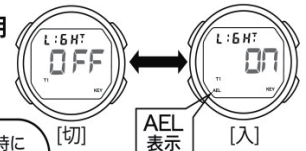
- ① 通常時刻表示の状態ですべてのボタンを約3秒間押し続けると設定画面が点滅します。
- ② [B] ボタンを押すごとに、下図の順で設定内容の点滅が切り替わります。



- ③ 点滅時に [D] または [C] ボタンを押して設定を変更します。[D] ボタンを押すと進み、[C] ボタンを押すと戻ります。
- ④ ②・③の手順で、設定をする部分を点滅させて変更します。
- ⑤ どの設定変更からでも、[A] ボタンを押して設定を終了できます。

[全ボタンELライト入・切] 設定の説明

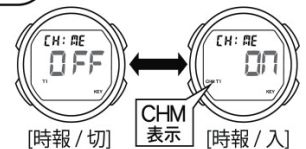
設定を[ON]にすると、すべてのボタンでELライトが点灯します。



注意: [ON]設定にするとすべてのボタン操作時にELライトが点灯するため、電池消耗が早くなります。

[時報入・切] 設定の説明

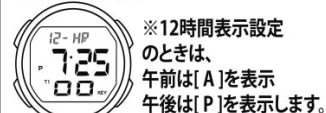
設定を[ON]にすると、毎正時にチャイム音が鳴ります。※時報の時刻設定は、できません。



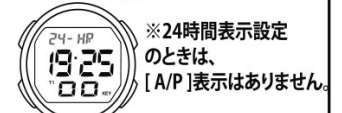
[12/24時間表示切替] 設定の説明

[D]か[C]ボタンを押して「12時間表示」か「24時間表示」を設定します。

12時間表示設定



24時間表示設定



[時・分・秒] 設定の説明

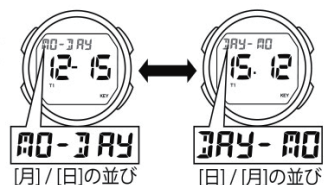
[時]と[分]は現在時刻に合わせます。
[秒]は[D]か[C]ボタンを押すと[00]秒に戻ります。
正しい時報に合わせて、ボタンを押すと正確に設定できます。

[西暦] 設定の説明

西暦は2000年～2099年まで設定できます。曜日は自動設定です。西暦・月・日の設定に合わせて自動で切り替わります。※うるう年も自動で切り替わります。

[カレンダー表示切替] 設定の説明

カレンダー表示の[月] / [日]の並びを選択できます。



[月・日] 設定の説明

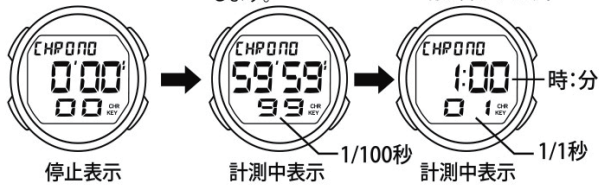
[月]と[日]を合わせます。

2 ストップウォッチ機能

※約30秒間計測が停止状態の時は自動的に通常時刻表示に戻ります。

計測表示の見方

- 59分59秒99までは100分の1秒まで計測します。
- 1時間以降の計測は1分の1秒単位に切り替わります。



最大計測時間:23時間59分59秒

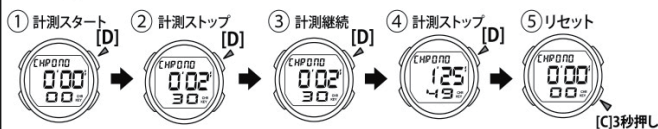
※最大計測時間に達すると再度0'00"00から計測を継続します。

※ストップウォッチ作動中は常に計測を表示します。作動中でも「B」ボタンを3回押して通常時刻表示に戻れます。通常時刻表示中も計測は継続しています。操作を行う場合は、ストップウォッチ機能に戻ってから行ってください。

基本操作

◎ストップウォッチ機能を表示してから操作を行ってください。

- ① [D] ボタンを押してスタートします。
- ② [D] ボタンを押してストップします。
- ③ 再度 [D] ボタンを押すと計測を継続します。
- ④ [D] ボタンを押してストップします。
- ⑤ [C] ボタンを約3秒間押すとリセットされます。



ラップタイム(LAP)とスプリットタイムの計測方法

ラップタイム計測とは

◎ラップタイム計測は周回や区間の時間を計測します。

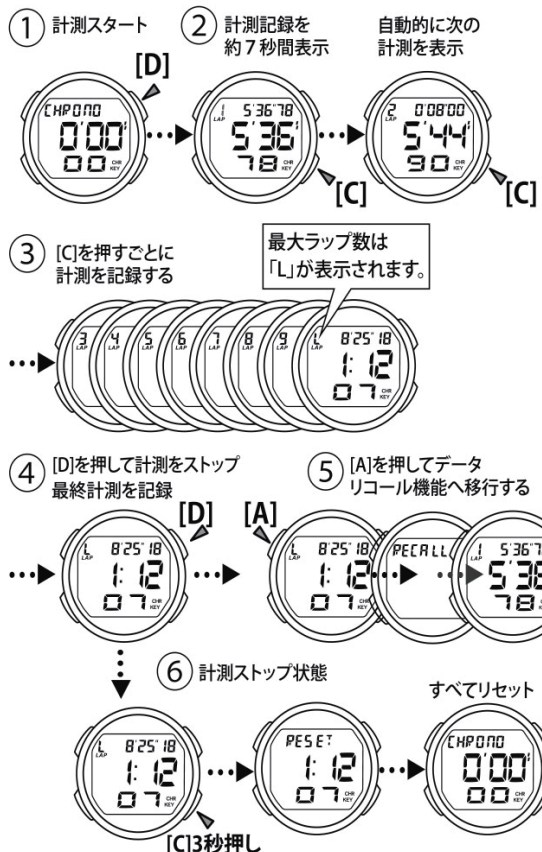
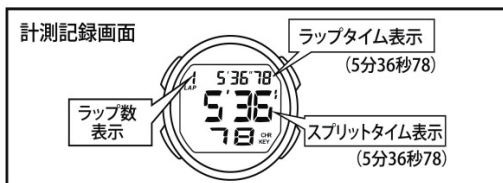


スプリットタイム計測とは

◎スプリットタイム計測はスタートから各区間までの積算時間(合計時間)を計測します。



- ① [D] ボタンを押してスタートします。
 - ② [C] ボタンを押すとラップタイムとスプリットタイムが同時表示され記録されます。この時、表示左上にラップ(LAP)数が点滅表示されます。
記録表示画面は約7秒間表示されます。
約7秒後に、自動で次のラップ計測中表示に切り替わります。
※約7秒間の記録表示中も計測は継続されています。
 - ③ ②の操作を行う度に計測を記録します。
計測は最大10回までメモリー(記憶)できます。
 - ④ 目的の最終計測を記録する時は、必ず[D] ボタンを押してストップしてください。
 - ⑤ 計測終了後、記録を確認する場合は、[A] ボタンを押して[データリコール機能]から各ラップ・スプリットタイムを見ることができます。
(※ **データリコール機能** をご参照ください。)
- ※注意:計測中は、[A] ボタンを押しても、[データリコール機能]に移行できません。必ず[D] ボタンを押して計測を停止状態にしてください。
- ⑥ 計測停止状態で[C] ボタンを約3秒間押すとリセットされ、計測記録がすべて消去されます。



補足説明

10ラップ目の計測のときに[C]ボタンを押すと10ラップ目以降も計測を継続できますが、ラップ数の表示は常に[L]を表示します。[L]表示のとき、ラップタイムの計測記録は[C]ボタンを押すごとに記録が上書きされます。最後に[D]ボタンを押して計測を停止した記録が10ラップ目として表示・記録されます。スプリットタイムは、ラップ1から最終ラップタイム記録までの累積時間が表示・記録されます。

重要

現在の記録を保存したまま、別の新しい計測・記録を行うことはできませんので、現在の記録をリセットしてください。

3 タイマー機能

※約30秒間操作を行わない場合は、自動的に通常時刻表示に戻ります。

あらかじめ設定した時間をカウントダウンし、設定した時間が経過したことをアラーム音または電子音で知らせる機能です。

タイマーの種類について

3種類のタイプから、設定時に1つを選択してください。複数のタイプを同時に設定することはできません。

タイマー作動中の画面



タイプ1: カウントダウンタイマー

設定時間をカウントダウンします。設定時間に達するとアラーム音が約30秒鳴ります。タイマーは自動で停止します。



タイプ2: オートリピートタイマー

設定時間を自動的に連続してカウントします。毎回、設定時間を経過すると電子音が2回鳴ります。カウントを停止する場合は、[D]ボタンを押してください。注意: 特定のリピート回数の設定はできません。



※最大99回まで設定時間を繰り返しカウントします。



タイプ3: カウントアップタイマー

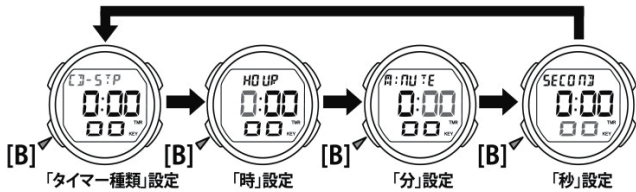
設定時間をカウントダウンし、設定時間を経過した時にアラーム音が約30秒鳴ります。設定時間経過後から、時間をカウントアップし、設定時間経過後の時間を表示します。経過時間を計測するだけで、アラーム音はありません。カウントを停止する場合は[D]ボタンを押してください。



タイマー時間と種類の設定

設定時間範囲: 1秒~23時間59分59秒

- タイマー機能表示の状態から[A]ボタンを約3秒間押します。タイマーの種類の設定が点滅します。※現在設定されているタイマーの種類が点滅します。[B]ボタンを押すことで、下図の順に点滅が切り替わります。



- 点滅時に[D]または[C]ボタンを押して設定を行います。[D]ボタンを押すと進み、[C]ボタンを押すと戻ります。※時・分・秒の設定時は長押しすると早送りできます。
- [A]ボタンを押して設定を確定させます。設定後は、つねに同じ設定時間が表示されます。設定時間を変更する場合は、①~③の操作を再度行ってください。

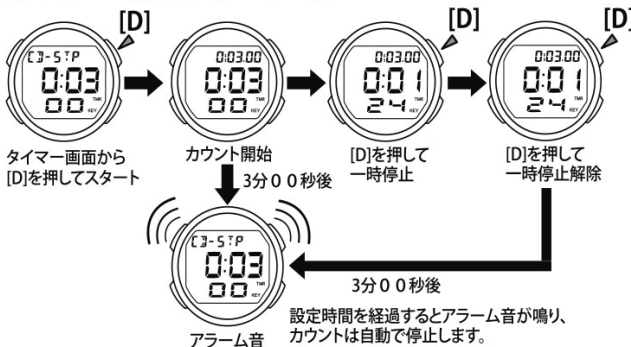
※注意: 点滅時に約30秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了してタイマー機能表示に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して設定を終了します。

タイマーの使い方

※タイマーが作動中は常にカウントを表示します。作動中でも[B]ボタンを2回押しして通常時刻表示に戻れます。通常時刻表示に移行してもカウントは継続しています。設定時間になった時には、アラーム音が鳴ります。

- [D]ボタンを押してカウントをスタートします。
- 一時停止は[D]ボタンを1回押ししてください。カウントを停止します。再度、[D]ボタンを1回押すと一時停止を解除しカウントを継続します。設定時間を経過するとアラーム音が約30秒間鳴ります。アラーム音はどのボタンを押しても止めることができます。
- カウントの途中で、最初からカウントをやり直す場合は、カウントを停止した状態で[C]ボタンを押すと、設定したタイマー時間の表示に戻ります。

《例》タイプ1の設定時間3分00秒の場合



4 アラーム機能

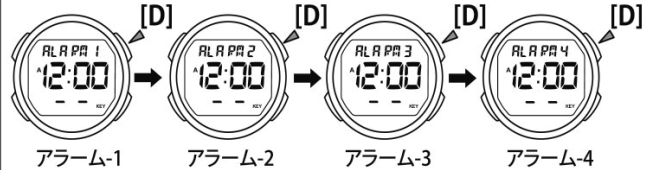
※約30秒間操作を行わない場合は、自動的に通常時刻表示に戻ります。

毎日、設定時刻にアラームが鳴ります。*アラーム音は約30秒間鳴ります。アラームは最大4つ設定できます。

アラーム設定とアラーム入・切 (ON/OFF)

- アラーム設定画面から[D]ボタンを押すことで各アラーム設定(アラーム1~4)の表示に切り替わります。

アラーム設定画面



- 各アラーム設定画面のときに、[A]ボタンを約3秒間押しすると[時]が点滅を開始します。[D]ボタンを押すと「時」が進みます。[C]ボタンを押すと「時」が戻ります。※長押しすると早送りできます。※設定変更を行った時点でアラームは自動的に入(ON)になります。
- 次に[B]ボタンを押すと[分]が点滅を開始します。[D]ボタンを押すと「分」が進みます。[C]ボタンを押すと「分」が戻ります。※長押しすると早送りできます。
- ③④で時間を設定したら、最後に再度[A]ボタンを押して設定を確定させます。
- 複数のアラームを設定する場合は、各アラーム設定を②~④の手順で行ってください。

アラーム入・切 (ON/OFF)

※注意: アラーム入・切の設定は必ず各アラーム設定ごとに行ってください。

アラームの入・切(ON/OFF)は、各アラーム設定画面ごとに[C]ボタンを押して設定します。

アラームを入(ON)にする時は、画面下に「ON」を表示させます。アラームを切(OFF)にする時は、画面下に「—」を表示させます。

アラーム-1入(ON)表示



※注意: アラームは設定時間が早い順に作動します。アラーム番号順ではありません。

アラーム-1切(OFF)表示



※注意: アラーム機能は表示時刻と連動して作動します。通常時刻表示のときに設定したアラーム時刻でも、第2時刻表示に切り替えていた場合、第2時刻が設定時間になったときにアラームが作動します。

※注意: 点滅時に約30秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了してアラーム設定画面に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

5 デュアルタイム表示機能

通常時刻表示 から第2時刻表示に切り替えることができます。

第2時刻に表示を切り替える場合

- ① 通常時刻表示の状態ですべてのボタンを押すと第2時刻を見ることができます。
[D]ボタンを約3秒間押し続けると第2時刻表示に切り替わります。

第2時刻表示の時は、[T2]が表示されます。※カレンダーは自動で修正されます。

[D]を押す → 第2時刻を表示



通常時刻に表示を切り替える場合

- ② 第2時刻表示の状態ですべてのボタンを押すと通常時刻を見ることができます。
[D]ボタンを約3秒間押し続けると通常時刻表示に切り替わります。

通常時刻表示の時は、[T1]が表示されています。※カレンダーは自動で修正されます。

[D]を押す → 通常時刻を表示



第2時刻の時刻設定方法

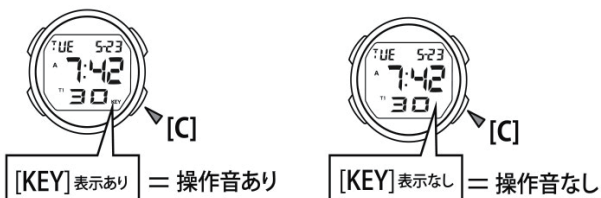
第2時刻設定方法は裏面の左上をお読みください。

6 操作音(入・切)機能

ボタン操作時に鳴る電子音を入・切することができます。

通常時刻表示または第2時刻表示の状態ですべてのボタンを押して入・切を設定します。

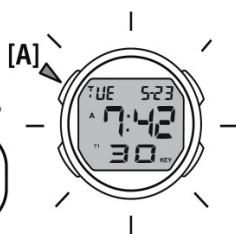
通常時刻表示または第2時刻表示の状態



EL全面ライト

[A]ボタンを押すとELライトが約6秒間光ります。

注意: ELライトは電気を多量に消耗します。
多用されると電池寿命が短くなります。
必要最小限のご使用をお勧めします。



注意: 電池の電圧が低くなると電圧不十分で作動しなくなります。
ELライト点灯時に液晶表示が薄くなったり表示が点滅したりします。
故障ではありませんが、お早めに電池交換をしてください。